

学年末試験でもそっくり使えます。是非、活用して下さい。

1学期の期末試験で100点満点を全科目で取るには  
—教科書とノートをスミからスミまで覚えること—

開倫塾  
塾長 林 明夫

## 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

多くの学校では、今週から来週にかけて1学期の期末試験が行われると思います。そこで、今日は、期末試験の勉強をどのようにするのかについてお話をさせていただきます。

## 2. 1学期の期末試験で100点満点を全科目で取るには

—教科書とノートをスミからスミまで覚えること—

(1)まずは、教科書をスミからスミまでよく理解し、それができたら、教科書をスミからスミまで覚える、頭に入れる、このことが一番大事です。

(2)そのためには、試験のある全科目についてどこが試験範囲かということを確認して下さい。特に、音楽・美術・技術家庭・保健体育の実技4科目については、主要5科目の英語・数学・理科・社会・国語と違い、ほとんどの方が勉強をしないで試験を受けてしまいます。これではあまりにももったいないと思います。そこで、くれぐれもお願いしたいことは、実技4科目についても教科書のどこからどこまでが出題範囲なのかを確定し、その確定した科目の教科書を、まずはよく読み込むことをお勧めします。何が書いてあるかについてスミからスミまですべて読み込むのです。特に、試験では教科書の本文以外の部分、脚注の部分からもたくさん出題されます。ですから、その部分も丹念に読んで、すべて理解することが大事です。

(3)さらに、科目ごとに学校で配られた資料集についても、試験範囲をよく読み込むことをお勧めします。先生が黒板に書いたことを書き取った授業のノートも、教科書や資料集と照らし合わせながら、よく読むことをお勧めします。特に、理科は実験や観察がとても大事で、その中から試験に出されることもたくさんあります。また、実技科目については、理科の実験や観察にあたる技術家庭の料理なども、授業のノートをよく読んで、何が書いてあるのかを理解することが大切です。

(4)そして、次にすることは、一度理解したことを身に付けることです。いくら理解しても身に付いていなければ、テストで点数を取ることはできません。ですから、一度理解したことはすべて身に付けることをお勧めします。

(5)どのように身に付けるのかというと、文字を追ってじっと眺めるのもよいですが、一番簡単な方法は、書いてあることを声を出して読む、つまり音読をすることです。

(6)英語・国語・社会は音読にとっても適している科目です。また、技術家庭・美術・保健体育の実技科目も音読に適している科目ですので、ぜひ音読をしてみてください。音楽も声を出して読むと非常に身に付く科目ですので、ぜひやってみてください。ただ、理科は実験や観察が十分にできていないと、音読だけではなかなか点数が取れません。ですから、授業のノートを音読するのがよいと思います。理科の不得意な方は、わかりやすい学年別の参考書を音読していただくと、書いてあることが頭に入ることが多いと思います。数学も大事なところは声を出して読むと力がつくと思います。

(7)では、何回ぐらい音読をしたらよいかというと、音読する回数は科目によって異なります。たとえば、英語は 10 回、20 回ではなく、百回単位で音読をしてみてください。前にもお話しましたが、同時通訳で有名な國弘正雄先生は、中学校の英語の教科書を 1 つの課について 500 ～ 1000 回声を出して読んだと言われています。ですから、よく意味がわかっている英語については、500 ～ 1000 回を目指して声を出して読んでください。必ず力がつきます。

(8)また、試験はペーパーテストですので、きちんとした文字が書けないと点数を取れません。書く練習もぜひしてください。英語・数学・理科・社会・国語の主要 5 科目についてはすべて書く練習をする。また、音楽に限らず、技術家庭・美術・保健体育もすべて書く練習をすることが大事です。書けなければ点数になりませんので、とにかく書いて書いて書きまくる、正確に書けるようになるまで書くことが大事です。

(9)数学は、なぜそのような答えが出るのかがよくわかった計算や問題については、同じ問題を見た瞬間に答えが出るようになるまでに、何回も何回も計算練習や問題練習をするとよいと思います。また、英語の書き換え問題や理科の応用問題などは、なぜそのような答えになるのかがよく理解できたら、問題とその答えをそのまま覚えてしまうことです。そうすれば、すべての科目について期末試験でよい点数を取れると思います。

### 3. おわりに

(1)もう一度繰り返してお話します。まず、教科書やノート、参考書などを徹底的に読み込んで、何が書いてあるのかをシミからシミまでよく理解する。

(2)そのあとで、よく理解したものを覚える。覚えるのに一番よい方法は、声を出して読む、つまり音読です。そして、書き取り練習と、問題を見た瞬間に答えが出るまでにする計算・問題練習をする。このような練習を繰り返し繰り返しすれば、全部の科目について期末試験で必ず 100 点が取れます。

(3)「練習は不可能を可能にする」という言葉がありますが、練習、つまり音読練習、書き取り練習、計算・問題練習をすれば、必ず 100 点が取れます。テスト範囲が決まっていて、やさしい問題が出される定期試験でぜひ 100 点を取って、よい夏休みを迎えて下さいね。

— 2012 年 1 月 26 日改訂 —